

第1回高石市行政計画審議会 議事結果概要

開催日時	平成28年10月11日(火) 午後2時00分～午後4時00分
開催場所	高石市役所 本館2階 正庁大会議室
出席者	日野委員(会長)、森委員、佐野委員、合田委員
議事	議題1 高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について
資料等	次第 委員等名簿 基本目標評価シート 個別事業評価シート

発言者	発言内容
事務局	それでは、定刻になったため、平成 28 年度第 1 回高石市行政計画審議会を開催する。会議に先立って、高石市長よりご挨拶をいただく。
市長	【市長挨拶】
事務局	それでは、日野会長より議事進行をお願いします。
日野会長	平成 27 年度に 3 回審議会を開催し、総合戦略を策定させていただいたところであるが、そのときに策定した内容を P D C A サイクルにより回すことから、内容の修正等も必要になるかと思う。そのあたりの進め方についてもご相談させていただければと思う。 まずは、議事次第のとおり、総合戦略の中の事業の効果検証について、各委員に評価していただきたい。それでは、事務局より、本審議会の進め方について説明をお願いします。
事務局	本審議会では、4 つの基本目標について、P D C A サイクルによる効果検証を行う。本日は平成 27 年度に実施した事業の効果検証を行うとともに、平成 28 年度に実施する事業についてもご意見いただきたい。 会議の進め方について、事務局から平成 27 年度の事業内容や実績を報告させていただき、委員の皆様からご意見をいただくという形で進める。
日野会長	各委員、進め方は今の説明通りで問題ないか。
各委員	異議なし。
基本目標 1 : 子どもを生き育てやすい環境を整える	
事務局	今回検証させていただいたのは 9 項目のうち 2 つ (不妊治療支援、結婚への意識向上)。それぞれ達成率が 7 6 %、8 8 %となっており、概ね達成できたのではないかと考えている。
佐野委員	不妊治療に関する支援が 7 6 %、結婚への意識向上が 8 8 %と概ね順調に進んでいるのではないかと思う。 不妊治療に関して、評価シートを見て実績が 3 1 件もあることに驚

	<p>き。不妊に悩まれる方が本当に助かったのではないかと考えている。結婚に関する支援に関しても、私自身も広報で見させていただいたが、平成 27 年度は結婚サポートスキルアップ事業を 3 回実施し、96 人ものが参加者があった。婚活のほかにも婚姻届、HP でもダウンロードできるといった配慮をしてくれていると思う。</p>
日野会長	<p>子どもを生み育てやすい環境を整えるという目標について、出生数と転出者数の 2 つであるが、本来どういう指標で達成できるかというところが重要。基本目標があり、それに対して行政としてどのような事業を実施できるかということである。</p> <p>出生数に関しては、不妊治療に対する助成というのは直接的に関与する指標となっているが、婚姻率は、出生数と違い、事業が直接関与しない指標である。結果として、出生数の増加や婚姻数の上昇を目指して事業を行うが、その事業について評価するのが基本的な考えとなる。</p> <p>具体的にどうするかは、後半に時間を取ってご意見いただきたいと思う。</p> <p>では、今後、目標を達成するため、どのようなことを実施すべきか。アドバイスがあればお願いしたい。</p>
佐野委員	<p>総合戦略の中にも働きながら子どもを預けやすい環境を進めるとあり、学童保育などは既に進めているところであるが、子どもを生み育てやすいという観点から、新たな打ち出しを検討されているのか。</p>
事務局	<p>平成 28 年度の新たな施策として、地方創生加速化交付金を活用し、本年 12 月に高石駅前に子育て世代ウェルカムステーションの整備を進めているところ。また、本施設のオープンに併せて、難波駅構内で、定住促進を図るプロモーションも行う。</p>
佐野委員	<p>ウェルカムステーションはどのような形態で行うのか。また、正規の職員で運用するのか。</p>
事務局	<p>有料で親子と遊べる集いの場と、無料で親子で遊べ、子育ての相談や一時預かりが可能な場の計画を進めている。</p> <p>また、事業運用は指定管理者が行う予定をしている。</p>
日野会長	<p>保育もするのか。</p>

事務局	一時預かりについては、指定管理者が保育士を当てて子どもを預かる予定をしている。
佐野委員	一人親家庭では、子どもが病気になった際にこの制度は非常にありがたい。しかし、指定管理者に任せる上でも、保育士の資質の向上や育成についても重要だと思う。
日野会長	保育ステーションは、駅前から各園への送迎を行うものではないのか。
事務局	子育て世代ウェルカムステーションには、施設内で一時預かりを行うものであり、総合戦略の同じ項目の中にある駅前保育ステーションとは異なる。この施設に関しては、ニーズ等を把握しながら、施策を検討をしているところである。
佐野委員	高石市の母子健康センターはすばらしいと評判。この施設をもっとPRしないといけない。
日野会長	今回の評価シートは、総合戦略に記載している事業のうち、一部をピックアップしているが、今回の評価シートに記載している事業の位置づけをご説明願いたい。
事務局	今回評価していただいているものは、国の交付金をいただいている事業もしくは平成27年度から実施する事業に対して評価を行っていただいているものである。
日野会長	駅前ステーションなどは他市等でも実施しており、注目を浴びている。高石市として色々な事業を実施しているのであればもっと様々な事業を評価してもいい。 また、子育てウェルカムステーションについても、指定管理の評価をするのか、利用者数で評価するのか、利用者の満足度で評価するのか、色々な考え方があるが、目標に対しての事業評価をするにあたり、事業の中で何を評価するのかをご検討していただき、各委員にもご指摘いただきたい。

日野会長	基本目標1の評価については、佐野委員より、概ね良好に進捗しているとご意見いただいたが、こういう評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
基本目標2：働きやすい環境を整える	
事務局	今回検証させていただいたのは4項目のうち1つ(企業と就業者とのマッチング)。達成率は60%。しかし、他の市の事例と比較すると参加者に対する採用者数の割合が非常に高くなっていることから、企業の雇用に対する意欲は高いと考える。
合田委員	雇用の意欲が高いというお話があったが、これに関しては、高石市においては、堺泉北臨海工業地帯があり、大企業など歴史ある優良企業が多いことから、雇用に対して積極的な企業が多いというのは実感している。 マッチングに関しては、雇用の数と質が重要。あらゆる機会を作って、企業側と就業者側のチャンスをつくることが大事。そういう点ではうまくいっていると思う。
日野会長	今回評価している数値に関しては、就業者の割合で評価しているが、例えば、企業説明会の回数や参加者数等で評価は行わないのか。
合田委員	合同で企業説明会を行うことにより、より多くの参加者が集まり、相乗効果が期待できる。
事務局	実施回数に関しては、合同企業説明会や泉州就職フェアなど年間2回開催している。
日野会長	企業の転勤を視野に入れると、基本目標1の子育てしやすい環境や、通勤の利便性なども関連するのではないか。
合田委員	働きやすい環境を整えるために、この分野だけに限定せず、住みやすい環境を整えることや、通勤が便利になるなど、地の利を活かすことが重要。内陸部には質の良い人がいる。その人材とマッチングする機会を増やすため、子育てや健康など総合して良いまちにしていくことが必要。

日野会長	市内の就業者数が増えると、税金も納めていただける。市内の企業への従業者へのサービスを考慮すると臨海部への合同の送迎システムなどの仕組みを導入し、それに対する参加者数などでK P Iを設定することも可能ではないか。企業のマッチングという観点では、各地域と連携し、どの市町で就職するとしても、住みやすい、働きやすい環境の整備として高石市が出来ることをこの項目に入れるのはありでは。
合田委員	働きやすい、住みやすい環境の整備を進めるため、企業合同の送迎バスとして臨海通勤バスを試験的に実施している。線路の東西の道路についても高架化されてスムーズになっている。高石市は努力している。
日野会長	10人を目標として6人が就職したという実績はあるが、合同企業説明会の開催数や参加者数、地域との連携の実績などで評価したほうがいいのかもしれない。それと合田委員からも話があったとおり、働きやすいまちといった観点を考える必要である。総合戦略全体が各分野と関連しており、総合的に見てまちづくりの目標が達成できているかということを見ればよい。 この基本目標については、進捗しているという評価でよろしいか。
各委員	(異議なし)
基本目標3：いつまでも健幸にすごせる環境を整える	
事務局	今回検証させていただいた事業は3項目。目標は概ね達成と認識。引き続き健幸に関する事業を実施するとともに、今後新たに実施する予定の創業型コミュニティカフェ制度などを進めることにより、地域において高齢者が安心してすごせる環境づくりを進める。
森委員	目標は概ね達成していると思うが、I C タグの所持率だけ目標値を若干下回っているが、この原因は？
事務局	I C タグに関しては、高学年にあがるにつれ所持率が低くなる。現在は入学時に特に重点的に配布することにより、高学年の所持率も増加させていきたいと考えている。
日野会長	この項目の一つ目の目標が健康寿命。その目標に対して、健幸ウオー

	<p>キング教室や健幸づくり教室を実施するというのはそれはそれでいいが、交通事故発生件数はそもそも高石市で操作できない数値であるため、K P Iに入れてしまうと、どれだけ努力しても達成できないかもしれないし、何もしなくても達成するかもしれない。よって、K P Iとしてマッチしない数値である。防犯カメラも同じで、達成率が100%となっているが、目標数値が何台まで設置すればいいのかはわからない。</p> <p>また、防犯カメラ設置台数が健康寿命という数値目標には関連しないということもあり、安全・安心と健康が入り混じっていることになっている。本来の事業評価としては、安全・安心の目標の中に防災・防犯の話があり、その下に関連事業がぶら下がることとなる。</p> <p>本日は欠席であるが、松村課長や国とも調整し、修正可能なところは修正していくべき。</p> <p>また、避難訓練の項目については、避難訓練の種類ではなく、例えば参加者や回数等で評価していくべきではないか。</p>
森委員	<p>健幸ウォーキングについて、夏にラジオ体操などを行っている人もいる。特に今年の夏は暑かったので、日差しよけみたいなものを熱中症対策に考えていただけないか。また、災害時に無料で飲料水が飲める自動販売機がある。そういったものも防災とも組み合わせて設置するよう検討していただけないか。</p> <p>行政が実施していただいている健幸ポイント制度の補助について、本年度で補助が終わると聞いているが、他の市町村は補助金がなくなっただのように進めていくか、ご存知であれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>健幸ウォーキング教室に参加していただいている方の暑さ対策として意欲が削がれないような形で、給水対策も含め検討していきたい。</p> <p>健幸ポイント制度に関して、各市の状況や実施結果も踏まえて、どのような形で実施していくか検討していきたい。</p>
日野会長	<p>現状では、暑さ対策などをぜひやっていただいて参加者に対する安全性を確保していただきたい。現在は参加者数で事業評価をしているので、事業をする上では、事業目標は掲げて評価を行っていったほうがよいので、直接総合戦略の指標にしないまでもご検討いただければ。</p> <p>また、国の補助事業に関しては、立ち上がりは補助が出るがその後の持続できる仕組みを補助金をいただいている間に検討すべき。</p> <p>指標の設定についても、よく検討した上で設定すべき。大きすぎる目</p>

	<p>標を上げるのではなく、数値の根拠をはっきりさせること。</p> <p>先ほど創業型コミュニティカフェという話があったが、これに関してご意見をいただきたい。</p>
森委員	<p>創業型コミュニティカフェについては、自治会、老人会等を中心に実施していただいているが、一からの立ち上げというのは難しいと思う。</p> <p>例えば、既存の店舗で休業しているところをリノベーションするなど検討すべきではないか。</p>
事務局	<p>創業型コミュニティカフェ支援事業については、創業支援に地域の居場所づくりを併せ持つて行う事業であるが、コミュニティカフェは現在、市内に33箇所あり、今後も各地域に広げていきたいと考えている。</p> <p>今ご意見があったように、空き店舗、空き家の活用や、講師派遣など様々な形態のコミュニティカフェを進めていきたいと考えている。</p>
合田委員	<p>創業型コミュニティカフェというのは、カフェ自体の創業・運用という主旨なのか、それとも、カフェに集う方々の間の情報交換の中からの創業という主旨なのか。</p>
事務局	<p>今回実施している創業型コミュニティカフェ事業は、しごとの創設と地域の居場所づくりを兼ねたものである。カフェに限らず、高石市で様々な事業を新たに行っていただく中で、地域の居場所づくりを協力いただくようなイメージ。</p>
日野会長	<p>コミュニティカフェをさらに発展する仕組みとして、定年退職された方の人材データベースを作成し、マッチングを行う高齢者人材バンク制度もいいのではないか。</p> <p>そもそも地域コミュニティの孤独死などを防止するために始まっている制度なので、現在はそこまで考えていないと思うが、高齢者バンク制度を創業という形で持つていくことで、地域でお金を出し合うなど、高齢者を活用した地域マネジメントといった考え方もある。</p>
事務局	<p>今回、創業型コミュニティカフェの募集に関しても、予想以上の応募があったので、ソーシャルビジネスに興味を持っている事業者が多いと実感したところ。そういった意欲を生かし、今後、市民と一緒に事業を作っていくような形も考えていきたい。</p>

日野会長	<p>今回のコミュニティカフェ事業の評価内容に関しては、実施回数や参加者数となっているが、今後創業型コミュニティカフェ制度を考えるのであれば、指標も検討しないといけない。</p> <p>あくまで、本項目の基本目標は、いつまでも健康にすごせる環境を整えることなので、まずは皆が健康で過ごせるような形があり、その後、人の集まりということをどのように形成していくかということも今後検討いただければと思う。</p> <p>最終的には、各分野の重み付けなども行い、各目標の因果関係を整理した上で、検討していただきたいが、今回の目標の評価に関しては、森委員のご意見のとおり概ね進捗しているとしてよろしいか。</p>
各委員	(異議なし)
基本目標4：住みたくなる環境を整える	
事務局	<p>今回検証させていただいた事業は6項目。うち、空き家バンク制度の促進、教育のICT化については低い達成率となっている。事業自体の立ち上がり、機器の導入時期自体が遅かったことが影響していると思われる。</p>
日野会長	<p>本項目においても、住みたくなる環境を整えるという目標に対して、教育分野が入っているという点に関しては整理が必要かもしれないが、まず、教育分野ということなので、佐野委員にご意見をいただきたいと思う。</p>
佐野委員	<p>教育のICT化については、年度途中からの導入ということや、平成28年度から追加導入を行っていることから、これからパーセンテージは上がると思っている。原因も先ほど申し上げたとおりであることから、心配はしていない。</p> <p>少人数学級についても、75%ということで目標はほぼ達成と見ている。英語教育の推進についても、98%の達成率となっており、教育委員会、教職員もがんばっていただいていると評価しても良いと思う。</p> <p>授業改善については、教育委員会の主任主事が各校を回り指導していると聞いている。各小中学校からは、毎年「学力向上大作戦プランニング」を提出させ、その年の目標等を明らかにしている。ハードに関しては、高石市スクールニューディールで整備していただいているので、次</p>

	はソフト面だと考えている。
日野会長	教育以外の分野に関しては、空き家バンク制度や二・三世代同居・近居支援等あるが、この分野については、松村課長からご意見をいただきたいと考えている。本日欠席であるが、松村課長よりご意見いただいているとお伺いしているので、ご報告いただきたい。
事務局	空き家バンク制度は、平成 27 年度から開始したとお聞きしているが、実際の効果検証を拝見していると、芳しくない実績に終始している。平成 28 年度は、何かてこ入れが必要だと考えるが、どのような対策を講じているのかとご意見いただいている。
事務局	平成 27 年に空き家所有者を対象として、アンケートを実施。アンケートに基づき、平成 28 年度からは、耐震基準を満たしていない物件も登録可能とし、空き家バンクに登録している物件の購入や賃貸に対して補助金を支給するなど、空き家バンクに登録しやすい環境を整えた。また、制度の P R を積極的に行い、登録件数を増やしていきたい。
日野会長	空き家バンク制度について、空き家をどのように活用するのか、契約件数の見込みはどうか、また、耐震基準を規制緩和する場合は、活用方法を限定するなど精査し、次年度以降の事業とすればどうか。
森委員	地域活性化ブランド戦略について、高師浜線の工場夜景ラッピング電車や工場夜景ツアーなど実施していただいているが、高師浜線活性化の特効薬は、旧市民会館・旧図書館跡地の活用だと思う。旧体育館もそうであるが、ぜひ画期的な企画をしていただき、地域の活性化につなげて欲しい。
事務局	旧市民会館・旧図書館跡地の活用に関しては、民間の創意工夫を活用した P F I であったり、アイデアを募るコンペ方式などで活用方法を十分に検討し進めてまいりたい。
森委員	関西国際空港を拠点とした広域的な取り組みの推進として泉州観光 DMO の設立を目指していると聞いている。高石市単体では、観光資源としては厳しいものと感じるが、泉州全般で観光というテーマを検討していただきたい。

	<p>また、二・三世代の同居・近居支援の施策は達成率 116%として効果が出ていると思うが、他の市町村でも、実施している施策であるため、高石市独自の取り組みとして、建物だけでなく、土地の減免ということも検討に入れてはいかがか。</p>
事務局	<p>泉州全体の観光地域づくりの舵取り役として泉州観光DMOの設立に取り組んでおり、来年度10月頃には法人化を目指して取り組んでいる。関西国際空港運営事業者をはじめ様々な関係団体とも連携し、今後事業が具体化する中で、高石市としても積極的に取り組み、高石市の魅力をPRしていきたい。</p>
事務局	<p>新たな減免措置として、高石市内で就業されている方の家屋の固定資産税を減免する施策を打ち出すところ。</p>
日野会長	<p>住みたくなる環境を整えるの項目について、教育の部分について、タブレットの活用等は事情をご説明いただいた。</p> <p>また、空き家バンク制度については、本来のストックと目標との比較も必要かもしれない。また、対策として規制緩和を実施しているとあるが、空き家の用途や使用条件の再検討などを松村委員からもアドバイスをいただき進めてほしい。</p> <p>現時点での状況や今後の対応も踏まえ、概ね了解できるのではと思うがいかがか。</p>
各委員	(異議なし)
日野会長	<p>住みたくなる環境を整えるという項目が転入者を増やすという目標となっているが、教育の分野の項目が転入者増加に対して直接関連しないのではないか。</p> <p>他の項目も含め、目標について再整備した上で、松村課長にもアドバイスをいただきながら、この設定した目標を変更するのは厳しいかもしれないが、指標の追加や修正等、再整備を行っていただきたい。</p>
事務局	<p>本日は長時間にわたりありがとうございました。いただいたご意見に関しては事務局で取りまとめさせていただきます。</p>